

印刷元気



企業の条件

ルポ・原稿=田中 肇

(株)セイキ

社長 北山 正孝氏

第49回



会社データ

社名 (株)セイキ (岡山県岡山市)
社長 北山 正孝氏 (58歳)
年商 1億円
社員数 10名
主力商品 企画・デザイン、情報サービス、
トータルプリントティング、スーパープリント
主力顧客 官公庁、財団法人、一般企業

凸版印刷機で活路を見出す

(株)セイキは昭和25年、岡山市小野田町にて、北山正孝氏の父親である北山亀（ひさし）氏によって個人印刷業者として創業した。亀氏は山陽新聞の編集に携わった後、印刷会社にて実務を学び、活版印刷業者として独立。伝票の仕事や端物を中心に着々と地元での信用を得、昭和39年には株式会社清輝印刷所に改組した。

昭和49年、亀氏が働き盛りの58歳で急逝。急遽正孝氏が社長に就任することになった。オイルショックによる不況で、事業継承の時期としては最悪のタイミングとなつたが、正孝氏が社長になって行ったはじめての大きな決定は、ハイデルベルグ社のB3凸版印刷機KSBの導入であった。時代は活版からオフセットへ移行していた時で、KSBの導入に対して「活版時代の終わりに、なぜ今さら凸版印刷機だ」と周囲はこぞって反対した。

「地方は加工まで持っていないと他社に太刀打ちできない。これから時代はKSBの生きる時代だ」。反対を押し切った正孝氏の判断は、正しかった。打ち抜き、シール、ナンバリング、ミシン目など多様な加工能力を持つKSBの活用によって同社は他社との競争に差別化を持って対処してきた。このKSBは導入から20年以上経

印刷を核として地域の発展に